

1 あなたの学校や家での学習のことで教えてください。

■分析と今後の指導上の工夫

・「勉強が好きですか」「学校の授業がどの程度分かりますか」の設問に対して、本校の肯定割合は、市の平均と比較して高い状況であった。ただし、各教科の学習について教科によっては、数%ではあるが否定的な回答をしている児童もいる。すべての児童が、勉強は楽しくよく分かると思えるように、分かりやすい指導を心掛けていく。

・「1日の学習時間」に対する設問では、平日は30分～1時間程度学習に取り組む児童が多い一方、土曜日や日曜日など、学校が休みの日は平日に比べ20分～30分程度の割合が多く学習時間が短くなっている。高学年に向け、適切な時間家庭学習ができるよう声を掛けていく。

・「学習に対する気持ちや態度」についての設問では、すべての項目で市の肯定割合を上回っている。特に「大人になってからの仕事に希望を持って学習している」「学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」「学習して、いろいろなことが分かったり、できるようになったりすることはうれしい」「学習したことは大人になったときに役に立つと思う」の設問では肯定割合が100%であった。学習がおもしろいという今の気持ちや学んだことを実生活と関連付けてみる態度など、学ぶ意欲をこれからも持ち続けられるよう、今後も授業の内容や指導の仕方を工夫していく。

・「学習の仕方」についての設問では、ほとんどの項目で市の肯定割合を上回っている。特に、インターネットやパソコンを利用して、調べたことをまとめたりするなど学習に関する情報を得ることに 대해서는自信をもっていることがうかがえる。

・「家庭での学習」についての設問では、市の肯定割合を上回っているものもあれば、下回っているものもある。その中でも特に肯定割合が低かった「授業で習ったことを、その日のうちに復習している」「自分で計画をたて、家庭学習に取り組んでいる」などについては、今後児童の学習状況に応じて個別に声を掛けながら、習慣化できるようにしていきたい。

・「世の中のことへの興味・関心」についての設問では、本校の肯定割合は、市の平均と比較して高い状況であった。「世の中で問題になっていることについて、どうすればよいか考えたことがある」「様々な人の生き方に感動することがある」「いろいろな種類の本を読むことは、楽しい」の設問では、市の平均と比較して高い状況であった。国語では、おすすめの本のブックトークをする授業をすることにより、本の面白さに関心をもち始めた。また、定期的に図書室を利用し、様々なジャンルの本にふれる機会を設けたことで、いろいろな種類の本を手にとるようになった。これからは様々なジャンルの本に幅広く親しめるよう、学校図書館司書と連携しながら、児童の読書意欲を喚起する本を適宜紹介していく。

2 あなたの毎日の生活について

■分析と今後の指導上の工夫

・「あいさつ」についての設問では、ほとんどの設問で市の肯定割合を上回っている。学校、地域において意識してあいさつをしている児童が多いことがうかがえる。今後も、自分から進んであいさつができるように指導していく。

・「学校のきまりやマナーを守っていますか」「社会生活のルールや公共の場所でのマナーを守っていますか」の肯定割合が100%であった。普段からきまりを守り生活しようとしていることがうかがえる。

・「読書の時間」についての設問では個人差がある。本校で取り組んでいる「水曜日の家庭学習は読書をする事」を通して、読書習慣が定着していくよう、学校図書館司書と連携しながら、今後も組織的、計画的に読書指導に努める。

・「動画視聴やゲームの時間」についての設問では、休日になると動画視聴の時間やゲームをする時間が長くなる傾向にある。家庭でのルールを守ってメディアやゲームと付き合いけるよう学校においても指導していく。

・「あなた自身のこと」「友達のこと」「家の人や先生のこと」についての設問では、市の肯定割合を上回っており、ほとんどの項目で100%であった。互いのよさを認め合う人間関係を基盤とした温かいクラスの雰囲気形成され、居がいのある学級経営に努めてきたことにより、自己肯定感も高く、友達と仲よく楽しく、助け合いながら学校生活を送っていることにつながったと考える。これからも児童一人一人が安心して生活できるように支援していく。

3 スマートフォンやけいたい電話について

■分析と今後の指導上の工夫

・「携帯電話やスマートフォン」についての設問では、スマートフォンやキッズ携帯を持っていると回答した児童の割合が57.2パーセントであった。

・持っている児童は、家庭での使用ルールは決まっているものの、「見てはいけないサイトにつながらないようにフィルタリングをしたり、キッズケータイを使ったりしている」「名前や顔写真、電話番号、メールアドレスなど個人情報を、だれでも見られるサイトやSNSに書きこまないようにしている」という設問に「いいえ」で回答する児童が見られた。また、スマートフォンや携帯電話でゲームをしたり動画やインターネットサイトをみたりSNSを使っている時間には個人差が見られる。土曜日や日曜日に「3時間以上」と回答する児童が僅かであるが見られた。今後も「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言」の家庭への周知徹底に努め、児童にもこの共同宣言を意識させながら、情報モラルについても指導していく。

4 あなたの体力やけんこう、食事、安全について

■分析と今後の指導上の工夫

・体力についてはすべての設問で、市の肯定割合を上回っており、児童は運動の大切さを理解していると考えられる。今後も体育的行事とも関連を図って運動する機会を設けたり、「がんばりカード」や検定表を活用したりと、積極的に運動できるよう支援していく。また、健康や体力に自信をもち、休み時間や放課後、休日などに進んで運動する児童が増えるように声を掛けていく。

・食事に関する設問では、肯定割合が高い。食事のマナーや栄養のバランスなど、児童は食事や健康に対する関心が高いことが分かる。日々の給食指導を基盤に、校内給食週間での意識付けなどの食育指導の積み重ねによるものと考えられる。

・「好き嫌いをしないで食べていますか」の設問でも市の肯定割合を上回っているので、苦手なものでも食べようとしている児童の頑張りが反映されている。今後も食事マナーについては、適宜声をかけながら指導していく。

・「安全」についての設問では、肯定割合がすべて100%である。今後も、状況に応じて自分の身の安全を守るために、危険予測に基づいて避難行動をとったり、目的意識を明確にして避難訓練に参加したりするように指導し、普段の安全指導も徹底していく。